

第5回メディアと表現について考えるシンポジウム

「わたしが声を上げるとき」

2019年5月18日（土）
14時00分～16時00分
（受付：13時30分開始）

会場：
東京大学情報学環福武ホール
地下2階 福武ラーニングシアター

登壇者：

ウ ナリ （株式会社キュカ 代表取締役）
小島慶子 （エッセイスト）
武田砂鉄 （ライター）
田中東子 （大妻女子大学 教授）
山本和奈 （Voice Up Japan）

司会：

山本恵子 （NHK 国際放送局 記者）

このシンポジウムは、今年1月「ヤレる女子大生ランキング」を特集した『週刊SPA!』に抗議し、編集部と対話をしたVoice Up Japanの山本和奈さん、#MeTooと声をあげにくい現状を、周りの人が声をあげることで変えていこうと立ち上げられた#WeToo Japanのサポーターも務める小島慶子さん、そして、安心して匿名で声をあげる仕組みを作った「キュカ」のウ ナリさん、ライターの武田砂鉄さん、ジェンダー問題に詳しい田中東子教授をお招きし、声をあげにくい社会で、声をあげる理由とは何か、そして、どう声をあげていたらいいのか、さらに、どうしたら声をあげやすい社会に変えていけるのか、メディアのあり方を含めて話し合います。ぜひご参加ください。

※入場無料・事前登録不要

※登壇者は変更になる可能性があります

主催： メディア表現とダイバーシティを抜本的に検討する会（MeDi）
東京大学大学院博士課程リーディングプログラム
「多文化共生・統合人間学プログラム（IHS）」教育プロジェクトS
協力： 東京大学大学院情報学環 林香里研究室

→ 詳しくは IHS
ホームページ にて

